



熊本城二の丸公園の芝生の上での対談

らです。

南 全県公園化構想についてはどうですか。

知事 具体例をあげると、立田山のあたりを市と県と力を合わせて二年間ぐらいで保全林として確保してしまおうという計画があります。要するにガーデンシティ(庭園都市)といいますが、森の中に街並みがあるといった感じを指す計画です。

ここで大事なことは、どうも日本人は木を植えることには熱心なんです。育てる方がおろそかになっていくのではないかとことです。しかも、公木の管理を国、県、市と別々にやっているということですから。この点も市長さんと相談して効率化を図りたいと思っています。

南 江津湖を蘇生させるための公園計画についてはどうですか。

市長 県の協力を得て、やっと水前寺と江津湖を一体とした大都市公園の青写真ができました。県が主として担当する所、市が担当する所と一帯をおおむね五つぐらいの地区に分けています。江津湖に関しては、水質の保全と周辺の緑化が大切と考えています。水質については、下水

道の整備だけでなく、湧水確保のため地下水の上流域である水源地域の涵養林対策も必要です。

南 熊本城から江津湖までのメイン道路をシンボル道路にできないかという話がありましたか。

知事 そのシンボル道路は建設省にビジョンがあったものでですからこちらにもってきたいと市にご協議申しあげました。また六十一年には、「緑の博覧会」(緑化フェア)が計画されており、市長さんと相談して、熊本市の動物園あたりにもってきたらいいのではないかと考えています。終ったあとはそのまま公園として残るんですよ。

市長 あそこには市が三万坪を確保しており、植物園にしようと思っっています。予定地にしていただければ、施設も整備されまさに一石三鳥ですね。(笑)

南 ところで知事さんは大きな木がお好きのようですが。

知事 現在建設中の熊本益城大津線(新空港道路)にくすの木を植え始めていまして、先日現場を見ました。難しいのは幹の太さが一五センチメートルまでしか国の補助

急ピッチで建設が進められている
熊本益城大津線
知事自ら緑化計画に意欲的に取り組む。



金がでないとかで。私はもつと太い木を植えたいと思ってはいたんですが、とにかく限度いっぱい木を植えることにしています。熊本の空の玄関口ですから、空港まで全部くすの木でつなげるようにします。下は一応さつきにしようと思っています。六十年に全国植樹祭が阿蘇であるんですが、それに間に合うように完成させたいと思っています。

南 中曽根総理が国民一人あたり二本の植樹を呼びかけられましたか。

知事 大変いいことだと思います。ただ木の数が多くというだけでなく、その木が大きく成育しているかという点も大切です。街の歴史を感じさせる大きな背景にもなると思います。また厳しい財政状況ですから、国の制度にのせられるもののはせて、緑化を進めるべきですね。

市長 緑化のポイントは森、すなわち緑の集団をつくることにあると思います。多くの樹種を集めた「市民の森」なんか作りたいですね。「ふれあいの森」というビジョンが国にあるようですから建設にむけて積極的に働きかけていきたいですね。